

令和7年度 保護者アンケート 集計結果

※回答率：約58%
※表中の単位は%

【学ぶ力】

苦手な教科や学習に粘り強く取り組む姿に課題があります。また、家庭での学習習慣が身に付くと、学力の向上も期待できます。基礎基本の定着を図るとともに、子どもの学び続ける強い気持ちの向上を目指します。

【豊かな心】

他者への思いやりをもつ姿が見られることは、大いに評価できます。一方で、2～3割ほどの方が「言葉遣い」と「あいさつ」に課題があると捉えています。公の場での適切な「言葉遣い」や気持ちの良い「あいさつ」ができる姿を目指して、指導を継続していきます。

【健やかな体】

朝食をとる割合が高く、健やかな成長が期待できます。「早寝・早起き」の習慣が崩れることは、学習意欲の低下や体調不良、不登校につながる心配があります。一日の時間の使い方を見直し、早寝・早起きを心がけるよう学校でも声を掛けます。

評価項目

		思う	やや思う	やや 思わない	思わない
学ぶ力	お子さんは、学校で学んだ学習内容を理解していますか。	37.1	50.8	10.6	1.5
	お子さんは、学校で勉強した内容について家族に話したり、説明したりしていますか。	28.0	50.0	15.2	6.8
	お子さんは、学習したことを別の学習や生活に生かそうとしていますか。	18.2	56.1	20.5	5.3
	お子さんは、家庭での学習習慣が身に付いていますか。	26.9	37.1	26.5	9.5
	お子さんは、苦手な教科や学習にも粘り強く取り組んでいますか。	18.6	42.8	29.9	8.7
豊かな心	お子さんは、思いやりをもって友達や身の周りの人に接していますか。	47.0	47.3	4.2	1.5
	お子さんは、言葉遣いに気を付けて会話をしていますか。	22.3	47.0	25.0	5.7
	お子さんは、家庭での約束を守って生活することができますか。	21.2	52.3	22.7	3.8
	お子さんは、進んであいさつする習慣が身に付いていますか。	29.2	47.0	18.2	5.7
健やかな体	お子さんは、手洗いを行ったり、けがをしないようにしたりするなど、健康や安全に気を付けて生活していますか。	34.1	47.3	16.7	1.9
	お子さんは、朝ごはんをきちんと食べていますか。	76.5	15.9	5.3	2.3
	お子さんは、早寝早起きができていますか。	33.3	33.3	22.3	11.0
	お子さんは、進んで運動したり、体を動かす遊びをしたりしていますか。	43.9	31.4	20.1	4.5
札幌らしい特色ある学校教育の推進	お子さんは、進んで本を読んでいますか。	21.6	25.4	28.0	25.0
子どもの発達への支援	学習や友達とのことなどで困ったり、悩んだりしたとき、お子さんには、学校に相談できそうな先生がいますか。	29.9	46.2	18.2	5.7
信頼される学校	お子さんは、前向きに楽しく学校に通っていますか。	51.1	39.8	6.8	2.3
	学校からのお便りやHPなどは、子どもたちの様子や学校・教師の考え方が伝わるものとなっていますか。	40.9	48.1	9.1	1.9
ICTを活用した教育	お子さんは、御家庭でタブレットを使って進んで学習に取り組んでいますか。	33.3	42.0	14.4	10.2

令和8年1月15日

【札幌らしい特色ある学校教育の推進】

1～3年生は、週に一回、えるむ図書館で本を借りています。これからも読書の機会の創出を続けていきます。

【子どもの発達への支援】

学校では、シャボテンログを使って、子どもの声や不調を確認し、声を掛けたり、相談しやすい環境を整えたりしています。

【いじめ防止・対策】

思いやりをもって友達や身の周りの人と接すること、困ったり悩んだりしているときに相談できる人がいることを大切に子どもたちと関わることができました。

【信頼される学校】

昨年度から、公共交通機関を使って校外学習に出かけることが増えました。JRや地下鉄などの利用の仕方、公の場でのマナーについても指導することができました。連絡アプリ「すぐる」の運用により、欠席連絡やお便りの配信が効率的に行われています。これからも「すぐる」や学校HPを使って、保護者の皆様にわかりやすい情報を発信して参ります。

【ICTを活用した教育】

冬休みには、全学年がクロームブックで宿題に取り組みました。授業の中でも端末利用が日常化しており、子どもたちのスキルは日々向上しています。同時に精密機器を丁寧に扱う指導も続けていきます。

たくさんの保護者の皆さまに御回答いただき感謝申し上げます。どの項目でも、おおむね高い評価をいただきました。これは、御家庭と学校が手を取り合って教育活動を進めてきた賜物です。ありがとうございます。反対に、厳しい評価をいただいた項目については、学校としての課題と捉え、効果的な手立てを検討して参ります。